

コロナ禍でオンライン授業

新型コロナウイルスの感染拡大で、本学では4月1日に予定していた入学式を中止。同日行う予定だったガイダンスと授業開始も見送られた。

その後5月初旬に授業開始を予定したが、4月7日、政府が感染拡大防止へ緊急事態宣言を発令したことで、5月18日まで授業開始を再繰り下げすることを決定した。

さらに感染拡大が続き、緊急事態宣言が同



新緑にあふれ学生たちを待つ新習志野キャンパス



自宅でオンライン授業を開始する未来ロボティクス学科の大川茂樹教授

月内にも「対面開始」検討

31日まで延長されたこと、本学は学生・職員の安全のため5月18日(月)から当面、情報通信

技術(ICT)と学生たちに貸与しているiPadを活用した授業(オンライン授業)のみ開講することを決断した。

授業形式は大きく分けて▽当該授業日から約1週間かけ各自が学修する「オンデマンド方式」▽時間割通りの曜日・時間にオンラインで授業する「ライブ配信方式」の2通り。オンラインでも、通常年と同レベルの教育を提供できるよう準備。学生たちは開講一覧表をCanvasや授業支援システムで事前確認して受講することになる。

すでにオンライン授業を体験した1年生からは「やっと千葉工大生として実感が湧いてきた。不安だがなんとかオンライン授業で頑張りたい。でも早く大学に通い、友人を作りたい」などの感想が寄せられた。

オンラインに加えて今後、6月22日(月)から対面授業も開始する予定だが、オンライン形式も同時に継続する。前期の対面授業が全て終了するのは9月12日(土)になる予定。

NEWS CIT

2020
4・5合併号

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<https://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2~3面 新入生の皆さんへ 小宮学長と瀬戸熊理事長の言葉／和田研が新型エンジン搭載ロケット打ち上げ成功／森ゼミアイデア賞
- 4面 fuRo+パナ連携掃除ロボ「ルーロ」発売／小浦研で受賞相次ぐ／大多喜町、南房総市とも連携協定／8市町にマスク寄贈／OB松岡氏が寄付金
- 5面 令和2年度予算案を承認
- 6面 2372人に学位記

合併号について 新型コロナウイルスへの感染防止策で研究発表の場や催しが自粛されたため、本紙は4、5月号を合併号として発行しました。

17年連続 AA— 本学格付け「安定的」

格付投資情報センター(R&I)は3月25日、本学の長期債務の信用格付けを「AA—(ダブルエーマイナス)」、格付けの方向性は「安定的」と公表した。本学は2003年にR&Iから発行体格付「AA—」を取得して以来、17年連続となる。

評価理由には、未来ロボット技術研究センター(fuRo)、惑星探査研究センター(PERC)などで研究活動に積極的取り組み、大手家電メーカーとの共同研究や「はやぶさ2」に搭載された観測機器の企画・開発といった実績をあげている。

また、2019年に新たに地球学研究センター(Geo-Cosmo Inst.)を設置し、大学の知名度向上に寄与▽19年度入試は地方の受験生を広く集め、9万人を超える過去最高の志願者数を確保。20年度は受験生の安全志向が高まる中で初めて10万人を超えるなど、インターネット出願の締切日を試験日前日までに繰り下げた効果が続いたとみられ過去最高を更新した—などを挙げている。

3D空間を疾走 車いす

fuRoが協力 準グランプリ獲得

本学未来ロボット技術研究センター(fuRo)が「クールジャパン・マッティングアワード2019」が協力して完成した、車いすレースの魅力を実験できるVR(バーチャルリアリティ)エンターテインメント技術がこのシステムは「サイ

バースポーツ」と名づけられ、車いすをかたどった筐体に乗って東京の街をスキャンした3Dの未来都市空間を疾走するなどの疑似体験ができる。自身が車いす利用者で

ある澤邊秀明社長が率いる(株)フントゥテン(本社・京都市)がパラスポーツの魅力を多くの人に知ってもらうために、研究開発型企業(株)RDSと共同開発した。

これらの技術にはfuRoが開発した「Hallie Hx」や「Ganglio」などで培ったロボット技術が応用されている。

クールジャパン・マッティングアワードは、日本の魅力を深く掘り下げ、世界の共感を得た優れた取り組みを募集し、表彰する。クールジャパン官民連携プラットフォームが主催し、内閣府に事務局がある。



「サイバースポーツ」—— 未来都市空間で車いすレースを体験できる

彬子女王殿下が 本学特別教授に

地球学研究センター 主席研究員も

三笠宮家の彬子女王殿下が、4月1日付で本学の特別教授および地球学研究センター(Geo-Cosmo Inst.) 主席研究員(非常勤)に就任になった。

彬子女王殿下は英国オックスフォード大で日本美術史の博士号をご取得になり、皇族の公務のほか学者としても幅広くご活躍になられている。2017年3月にはトルコ・アナトリア地方の考古学

文化・歴史に関する研究活動を支援している三笠宮記念財団の総裁にご就任になった。

三笠宮家は、彬子女王殿下の祖父で学者として知られた崇仁親王殿下がアナトリア考古学研究所の属する中近東文化センターの設立をご発意。父の寛仁親王殿下が同研究所建設にご尽力になった。

一方、本学地球学研究センターと惑星探査研究センター(PERC)はアナトリア考古学研究所と共同で、中央アナトリアで1万年の人類の歴史が埋まっているカマン・カレホユック遺跡の発掘・研究を行っている。

一昨年9月、彬子女王殿下の三笠宮記念財団総裁ご就任を祝う式典がトルコのイスタンブール県で開かれた際、本学から瀬戸熊修理理事長と松井孝典常務理事(PERCとGeo-Cosmo Inst. 所長を兼務)が参列。このときアナトリア考古学研究所の大村幸弘所長が2人を彬子女王殿下にご紹介したのを機に、一昨年12月には本学津田沼キャンパスを訪問、教育・研究環境をご視察になった。昨年度からは本学主催の研究会「フォーラム地球学の世紀」にもご参加になっている。

今後は8世紀初頭に西域やペルシャから日本に渡来した文化とその影響についての調査・研究のほか、学部教養課程、専門課程、大学院での講義をしていただく予定だ。

fuRo+パナ 連携家電1号 掃除ロボ「ルーロ」発売



上部(円盤)に「fuRoTechnology」と刻印された「RULO」

本学未来ロボット技術研究センターの略称を冠した「fuRo Technology」搭載と銘打ったロボット掃除機が4月20日、家電最大手の㈱パナソニックから発売された。同社のロボット掃除機「RULO(ルーロ)」シリーズの最上位モデルに位置づけられる「MC-RSF1000」で、本体上部に「fuRo Technology」と表示されている。一般の消費者に最も身近な家電商品に、開発に携わった大学研究機関名が表示されるのは極めて異例だ。

センサー進化、OTOMO機能も

家電量販店の店頭などで配布されるパナソニックの掃除機総合カタログのロボット掃除機のページには、「新しいルーロの誕生」として、次のように明記されている。

「次世代ロボティクス家電開発の加速に向け、当社は企業と大学の共同開発の実現を目指し、「パナソニック・千葉工業大学産学連携センター」を設立、千葉工業大学未来ロボット技術研究センター(fuRo)が開発した世界最高レベルのSLAM技術を含む、fuRo Technologyを搭載したコンセプトモデルの

開発に取り組みました。本製品は、上記の産学連携センターで開発されたコンセプトモデルをベースに、パナソニックとして開発、商品化を行いました。そして「進化したルーロは驚くほど賢く、丁寧」と「タタマの良さ」を強調。

「RULO MC-RSF1000」は2月10〜13日、東京都内で発表会が行われ、テレビ、新聞、雑誌、ウェブメディアなど170人を超える報道関係者が集まって、関心の大きさを示していた。当初、発売は3月下旬と予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で4月20日に

早速購入

小澤・同窓会
山梨県支部長

延期された。パナソニックとfuRoとの今後の連携について古田貴之fuRo所長は「fuRoの技術を用いて製品化を加速したい」とコメントした。

小澤さん宅の床を快適に掃除するRULO



「新しいルーロ」を発売日の4月20日に早速購入したOBがいる。同窓会山梨県支部長の小澤誠さん(昭和39年・工業化学卒)だ。瀬戸熊修理理事長との懇談や古田貴之fuRo所長の講演などで画期的な性能を聞き、関心を持っていたので、知

り合いの電気店に「山梨県の販売1号機を持ってきて」と予約しておいたのだという。使ってみた感想は、「スマートで音も静か。部屋の隅々までゴミの取り残しもないし、ゴミ捨てもラク。OTOMO機能はまだ使いこなせないけど、理事長が自慢しただけのことはあると思いますよ」

大多喜町、南房総市とも連携協定

本学は3月16日に南房総市(石井裕市長)とII写真右、30日に大多喜町(飯島勝美町長)とII同左II包括的連携協定を締結した。千葉県内で同様の協定を締結した自治体は13市区町となった。南房総市と本学は平成27年に、互いの知見や技術、資源などを活用し地域の雇用創出、若者の定着を図ろうと「地(知)の



拠点大学による地方創生推進事業に係る連携・協力に関する協定を締結。市民との協働によるまちづくりの推進に協力している。大多喜町では締結式で、本学学生に貸与していたタブレット端末150台が町に寄贈され、今後、小中学校で取り組みが本格化するICT教育での活用が期待される。

小浦研で受賞相次ぐ

被膜研究や水処理技術

生活圏環境の生命科学や応用化学を追究する小浦節子研究室で、受賞が相次いだ。

●及川 睦貴さん (応用化学科4年)

グラフェン・酸化グラフェン・シリコンポジウム(昨年12月6日、東京・秋葉原のTKPガーデンシティPREMIUM秋葉原で開催)で「酸化グラフ

エンの表面帯電性質に着目して水中で陰イオン性、陽イオン性及び中性物を被覆し生体にも使われるメンブレン(膜)の新規材料・酸化グラフェン膜は、既存のポリマー系やセラミックス系と比べ耐薬品性、汚れや目詰まりがしにくい耐ファウリング性、低コストで優れるといわれる。及川さんは酸化グラフ

エンの表面帯電性質に着目して水中で陰イオン性、陽イオン性及び中性物を被覆し生体にも使われるメンブレン(膜)の新規材料・酸化グラフェン膜は、既存のポリマー系やセラミックス系と比べ耐薬品性、汚れや目詰まりがしにくい耐ファウリング性、低コストで優れるといわれる。及川さんは酸化グラフ

●松本 智行さん (生命環境科学専攻1年)

2019年度材料技術研究協会討論会(昨年12月5、6日、東京・神田の日本大理工学部・駿河台キャンパスで開催)で「水環境に存在する菌に対する水素FB水の抑制効果の検討」を発表し、ゴールドポスター賞。台所や浴室など身近な水回りに発生するピンクぬめりに対し、水素ファインバブルの抑制効果を検討した。浴室から採取した菌で水素ファインバブル水や従来の殺菌剤との比較評価を行った。同様の研究が少なく検証や評価方法に悩まされた。「輝かしい賞を頂き光栄に思います。これは先



備蓄していたものだが、当面はオンライン授業が続くため、連携協定を基にさまざまな取り組みを展開している各市町へ届けることにした。マスクを受け取った九十九里町II写真IIや香取市、八街市、酒々井町、大多喜町、南房総市、勝浦市、御宿町では、職員たちが、公立の保育所、幼稚園、小中学校で感染予防のために役立てたいと話していた。



及川 睦貴さん



松本 智行さん



石井 元揮さん

OB松岡氏が 本学に寄付金

新型コロナウイルス対策で学生の健康を守るために使ってほしいと5月

連休明けに、旭電業㈱の松岡徹・代表取締役社長から本学に寄付金300万円が申し出があった。松岡氏は、昭和49年電気工学科卒の本学OB。昨年4月にも、留学生の受け入れや、留学生が将来自国を支えて活躍できるように、本学に人材育成資金として1000万円の寄付があった。



開始に合わせ、学生用に

千葉工業大学 令和2年度予算

資金収支

(単位：円)

収入の部			
科目	令和2年度予算	令和元年度予算	差異
学生生徒等納付金収入	14,300,000,000	14,123,000,000	177,000,000
手数料収入	369,000,000	419,900,000	△ 50,900,000
寄付金収入	105,000,000	128,500,000	△ 23,500,000
補助金収入	751,000,000	752,200,000	△ 1,200,000
資産売却収入	0	4,300,000	△ 4,300,000
付随事業・収益事業収入	550,000,000	664,400,000	△ 114,400,000
受取利息・配当金収入	380,000,000	533,000,000	△ 153,000,000
雑収入	320,000,000	381,000,000	△ 61,000,000
前受金収入	5,000,000,000	5,144,000,000	△ 144,000,000
その他の収入	2,631,800,000	13,233,400,000	△ 10,601,600,000
資金収入調整勘定	△ 5,394,000,000	△ 5,821,600,000	427,600,000
前年度繰越支払資金	9,581,800,000	10,102,400,000	
収入の部合計	28,594,600,000	39,664,500,000	△ 11,069,900,000

支出の部			
科目	令和2年度予算	令和元年度予算	差異
人件費支出	7,450,300,000	7,458,200,000	△ 7,900,000
教育研究経費支出	4,299,900,000	4,123,900,000	176,000,000
管理経費支出	1,107,500,000	1,381,400,000	△ 273,900,000
施設関係支出	101,300,000	862,700,000	△ 761,400,000
設備関係支出	672,500,000	712,800,000	△ 40,300,000
資産運用支出	1,031,300,000	13,007,600,000	△ 11,976,300,000
その他の支出	2,750,000,000	2,897,100,000	△ 147,100,000
[予備費]	200,000,000	0	200,000,000
資金支出調整勘定	△ 335,000,000	△ 361,000,000	26,000,000
翌年度繰越支払資金	11,316,800,000	9,581,800,000	1,735,000,000
支出の部合計	28,594,600,000	39,664,500,000	△ 11,069,900,000

事業活動収支

(単位：円)

教育活動収支	科目	差異		
		令和2年度予算	令和元年度予算	差異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	14,300,000,000	14,123,000,000	177,000,000
	手数料	369,000,000	419,900,000	△ 50,900,000
	寄付金	105,000,000	128,500,000	△ 23,500,000
	経常費等補助金	751,000,000	752,200,000	△ 1,200,000
	付随事業収入	550,000,000	664,400,000	△ 114,400,000
	雑収入	320,000,000	381,000,000	△ 61,000,000
	教育活動収入計	16,395,000,000	16,469,000,000	△ 74,000,000
事業活動支出の部	人件費	7,450,300,000	7,458,200,000	△ 7,900,000
	教育研究経費	6,832,100,000	6,799,500,000	32,600,000
	(内、減価償却額)	2,532,200,000	2,675,600,000	△ 143,400,000
	管理経費	1,831,100,000	1,855,400,000	△ 24,300,000
	(内、減価償却額)	723,600,000	723,900,000	△ 300,000
教育活動支出計	16,113,500,000	16,113,100,000	400,000	
教育活動収支差額	281,500,000	355,900,000	△ 74,400,000	

教育活動外収支差額	380,000,000	284,800,000	95,200,000
経常収支差額	661,500,000	640,700,000	20,800,000
特別収支差額	△ 2,000,000	△ 74,800,000	72,800,000

基本金組入前当年度収支差額(予備費含む)	659,500,000	565,900,000	93,600,000
基本金組入額合計	△ 644,200,000	△ 1,001,700,000	357,500,000
当年度収支差額	15,300,000	△ 435,800,000	451,100,000
前年度繰越収支差額	△ 7,541,700,000	△ 7,105,900,000	△ 435,800,000
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 7,526,400,000	△ 7,541,700,000	15,300,000

事業活動収入計	16,775,000,000	17,057,400,000	△ 282,400,000
事業活動支出計	16,115,500,000	16,491,500,000	△ 376,000,000

①教育活動収入
164.0億円(前年度比0.7億円増) 昨年度比0.7億円増
学生生徒等納付金は昨年度比1.8億円増の143.0億円とするが、全体では0.7億円程度の減少を見込んでいる。

②教育活動支出
161.1億円(前年度比1.1億円増) 昨年度比1.1億円増
①人件費は、退職金が減少し、その他の人件費が増加する見込みで、昨年度とほぼ同額の予算とした。人件費比率は44.4%(昨年度43.9%)。

③教育研究経費は、引き続き教育環境の充実に重点を置いた予算としている。ゼロシリンクを基本とするが、消耗品費や委託費等の増加により昨年度比0.3億円増の予算とした。教育研究経

④管理経費は、業務の効率化や経費の圧縮に努め、昨年度比0.2億円減を見込む。管理経費比率は10.9%(昨年度10.9%)である。

⑤図書・車両他
組入額 0.6億円
除却額 △0.3億円

⑥第2号基本金組入額 9.9億円

⑦教育環境整備資金組入額 10.0億円

⑧第1号基本金への振替組入額 △0.1億円

⑨収支差額
以上の結果、当年度収支差額は0.2億円の収入超過、前年度繰越収支差額は75.4億円のマイナスであるので、翌年度繰越収支差額は75.3億円(全文はウェブに掲載)

令和2年度予算案を承認

3月27日、東京カーデナルパレスで開かれた本学理事会・評議員会で、令和2年度予算案が承認された。

高等教育をとり巻く環境
高等教育機関は生き残りをかけて存続していくための教育改革、入試改革の先行を迫られている。これら一連の改革の背景には、日本が本格的な人口減少を迎える中、今の子どもたちが「グローバル化」「人生100年時代」「Society5.0」といったキーワードで表現されるような大きく変化する社会において、生き抜くための力

を身に付けさせる必要があるからであろう。答申に示される2040年に高等教育機関が目指すべき姿として、「学修者本位の教育への転換」「多様性と柔軟性ある教育研究体制」「学び」の質保証の再構築」あらゆる世代が学ぶ「知の基盤の構築」などが挙げられており、高等教育機関はそれらに対応するさまざまな改革を先行、継続していかねばならない。

直近では高等教育の修学支援制度への対応、2021年から始まる大学入学共通テストへの対応などがあるが、こういった変化の激しい時代だからこそ社会のニーズを的確に捉えた不断の改革に

よりの大学の差別化、ブランドینگ化を一層進めることが重要であろう。未来ロボット技術研究センターでは、搭乗型・知能ロボット「Angho」が「Dezley Designs of the Year 2019」にノミネートされ、約7カ月間、ロンドン・デザイン・ミュージアムに展示されるなど世界的な注目を集めたほか、シートン・グボジションの最適化を測る車イスのシミュレーター「SSO」をRDS社と共同開発し、NHK等のメディアに取り上げられた。また、通信対戦型VR車いすレース「CYBR WHEEL X」

の開発に協力、このシステムは本学東京スカイツリータウンキャンパスに設置され、多くの来場者が体感している。惑星探査研究センターでは、小惑星リュウグウを離脱し地球帰還しつつある「はやぶさ2」の運用と観測成果論文の執筆、小惑星フェイトン探査ミッション「DESTINY」や火星衛星探査計画(MEMO)の科学観測機器開発とサイエンス推進、気球による成層圏微生物採取プロジェクト「Biopause」による放球実験の実施に向けた準備、JAXA革新的衛星技術実証プログラムに採択された「超小型衛星2号機」の打ち上げに向け

た開発や、高度30キロに離れたロケットの洋上発射実験を目指す「小型観測ロケット開発」など積極的に活動している。さらに、人工知能・ソフトウェア技術研究センター、国際金融研究センター及び次世代海洋資源研究センターの成果に加え、2020年4月に開設した地球学研究センターにより、先端研究の領域はさらなる拡がりを見せている。

本学の一般入試志願者は引き続き増加傾向であり、2020年度入学試験は過去最高の志願者数を達成し、志願者総数全国6位、5年連続のベスト10入りとなった。

①教育・研究
引き続き、教職協働に
よりの、教育・研究の質の向上を推進し、退学者・留学者の抑制、大学院進学者及び編入学者の増加に務める。

本学は、建学の精神を実現するために、「教育目標」並びに「学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成」(ディプロマ・ポリシー)及び「入学者受け入れの方針」(アドミッション・ポリシー)を定め、ファカルティ・デベロップメントや外部研究獲得のための施策等を強力に推進し、教育及び研究の改革・改善に取り組んできた。また自己点検及び第三者評価等を通じて、3つのポリシーの一貫性について継続的に評価を行い、更にポリシーに沿った教育研究活動が行われていること

うかの評価を行い、必要な場合は見直しや新たな計画の策定を行うことにより、全学的な体制の下でPDCA(継続的改善方法)サイクルを機能させている。

工学部の改組に伴い抜本的な見直しを行った新たな教育課程について、中央教育審議会答申等で示された学士力の養成、すなわち知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、総合力・創造力を養うことを念頭に、能動的学修(アクティブラーニング)やインターンシップなど主体的な学びも多く取り入れて構成されており、教養教育・専門教育を通じて教育課程の体系化、単位の実質化を実現している。完成年度を迎えた今年度は4年間の成果を検証すると

もに、検証結果を踏まえ、更なる質的向上を目指す。指定校推薦入学制度の検討を進める。工学部以外の学部の改組・教育課程の見直しについても、研究所等とも連携し、具体的な検討作業を開始する。

教育方法の改善については、「FDフォーラム」(FD研修会)を開催するなど、FD(ファカルティ・デベロップメント)の継続的な推進を図る。さらに、SD(スタッフ・デベロップメント)研修への教員参加を拡大し、教職協働による教育支援体制を拡充する。また、グッドレクチャ―賞やベストティーチャ―賞といった教育業績表彰といった教育業績表

彰制度による教育方法の講習会等も引き続き実施する。

指定校推薦入学制度の導入による工業高等専門学校との連携強化により、学部3年次の編入学者は一定数を確保しており、今後も教育・研究面での交流も含め交流を推進する。大学院においては、附属の各研究所等と連携した教育・研究体制を充実させるとともに、大学院専攻の修士課程において英語による講義・研究指導で修了できるコースを開発する。留学者及び退学者の減少に効果をあげ、更なる留年退学者の減少のために多様化する学生に対処しきめ細かい学修支援を実施する。

国際化については、今後も海外のトップクラスの大学との交流協定を引き続き積極的に拡大し、留学生の受け入れ及び本学学生の海外留学ともに増加させる。さらに「国際交流支援基金」も活用しながら広く留学生を受け入れ、出身国のリーダーとなり得る人材の育成に寄与する。

研究及び産官学連携については、「学校法人千葉工業大学産官学連携協議会」を通じた活動のほか、研究の活性化と産学連携の強化を推進する。加えて、安全保障貿易管理等についても整備を進め、更に充実したコンプライアンス遵守体制の構築を進める。

除却額 △0億円
②構築物
組入額 0.9億円
除却額 △0億円
③教育研究用機器備品
組入額 6.0億円
除却額 △9.4億円
④管理用機器備品
組入額 0.1億円
除却額 △1.5億円
⑤図書・車両他
組入額 0.6億円
除却額 △0.3億円
⑥第2号基本金組入額 9.9億円
⑦教育環境整備資金組入額 10.0億円
⑧第1号基本金への振替組入額 △0.1億円
⑨収支差額
以上の結果、当年度収支差額は0.2億円の収入超過、前年度繰越収支差額は75.3億円(全文はウェブに掲載)

2372人に学位記

コロナ対策 教室で授与



「3密」を避け、各学科、時間ごとに区切って学位記を手渡し



「最後の一日を、最高の一日に」
—大学から贈られた言葉

新型コロナウイルス感染防止のため中止された2019年度(令和元年度)の千葉工業大学学位記授与式(3月22日)に代えて、学位記の受け渡しは同日、津田沼校舎2号館、6号館などの各教室で行われた。感染のリスクを極力避けるため、学生番号順に時間帯も指定。異例の受け渡しとなったが、それぞれが思い出深い講義室で教授や学友と別れを告げ、忘れられない一日となった。

令和元年度 学生表彰者		
種類	氏名	学科
理事長賞	矢部はるな	機電
学長賞	石井 晃一	電電
	藤崎 光	通信
	松岡 春奈	経情
	勝田 昂平	機械
	石澤譲一郎	機電
	高瀬 良	先端
	上田 隆一	電電
	土屋 翔	応化
	中馬 拓美	建築
	寺田 光穂	都市
	加納あかり	デザ
	野上 匠	ロボ
	時田 悠	生命
	渡邊 郁美	知能
	酒井 友輝	情報
荒井 武蔵	情ネ	
関根 晴矢	PM	
田中 宏武	金融	
同窓会会長賞	小林 翔	都市
	稲川さくら	機電
PPA会長賞	岡野 隼也	経情
	倉田祐太郎	機械

令和元年度千葉県知事賞		
千葉県知事賞	市川 友貴	情報
令和元年度千葉市大学市長賞		
千葉市大学市長賞	伊藤 光輝	先端



小宮学長(前列中央左)、瀬戸熊理事長(同右)と学生表彰受賞者たち

理事長賞に矢部さん

この日門出を迎えたのは学士2085人、修士276人、博士11人の計2372人。春の日差しに包まれた津田沼キャンパスでは、1号館前の中庭や、噴水広場、正門などあちこちで恩師と共に過ごした友人たちと写真撮影をする姿が見られた。

通信システム工学科、松岡春奈さん(経営情報科学科)ら3人、同窓会会長賞、PPA会長賞の4人に、理事長、学長から表彰状と記念品が手渡された。他の受賞者には、各教室で表彰が行われた。また、学位記を受け取りに大学に足を運んでくれた博士課程修了生には、小宮学長から1人1人に学位記が授与され、「人のためになる研究



を続け、人類を救っていただきたい。皆さんの今後の活躍をお祈りします」と、はなむけの言葉が贈られた。

四季雑感

桜に菜の花、花々が一斉に咲き誇る4月。千葉工業大学にご入学された新入生の皆さん、おめでとうございます。普段なら毎年春は、年度替わりで慌ただしい日々の合間を縫い、祖父母宅の竹林で笹堀りを楽しむ私ですが、今年はなかなか難しくそうです。

同窓会

新入生ならびに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。私が本学に入学したのは約25年前のことです。北海道の田舎から千葉県へ出てきた当時の私は、それまでに殆どしたこと

名誉ある受賞、非常に光栄に思います。この結果は、皆さんの助けがあったからこそだと思います。まだまだ大学にはお礼があるので、これからもこの賞に恥じることなく、頑張っていきたいと思えます。



学長賞 石井 晃一さん



理事長賞 矢部 はるなさん

学費の面など、両親に感謝するとともに、今回の受賞は恩返しになるのかな?と、とてもうれしく感じています。今後感謝の気持ちを忘れず、精進し、頑張っていきたいと思えます。ありがとうございました。



学長賞 藤崎 光さん

熱心な先生方や、整った学習環境に恵まれ、大変充実した大学生活を送ることができました。学長賞を受賞した経験を生かし、今後は、新しい場所へ社会に貢献していきたいと思えます。



学長賞 松岡 春奈さん

4月、5月は大学内に緑が溢れ、木々のざわめきや木漏れ日がキャンパス内を彩り、立ち並ぶ校舎が一層きらめく季節だ。すがすがしい風に吹かれると、曲がっていた背筋も自然とピンッと伸びてしまう。

編集だより

私が高卒で入職した10年前の春、未曾有の災害と呼ばれた東日本大震災がありました。今までに経験したことのない状況が幾度となく訪れ、皆で乗り越えてきました。今年も未知の感染症・新型コロナウイルスで世界中が大混乱の中、本学でも入学式を中止し、授業の開始を遅らせることになりました。

大学だけでなく、日常生活でも何かと辛抱の多い今。不安や恐怖が先立ちますが、このウイルスによって世界が大きく変化する兆しも感じています。教育や働き方がI.Tで変革し、同時に人々の価値観も変わっていきます。この難局に皆で立ち向かい、誰もが生きやすいフレンドリーな社会に発展することを期待しつつ、強く生き抜いていきましょう。どうか、来年は花見や笹堀りが楽しめますように。

山積みだ。本来なら新しい環境に慣れるタイミングのこの季節……。未だ会えない同級生に思いを馳せることもあってしょう。大学では皆さんの安全安心のため万全な体制で受け入れ準備を進めています。希望に満ち溢れたまぶしい笑顔に早く出会いたい。ただそれだけを願うばかりです。入試広報課 大橋 慶子

総務部総務課秘書室 金澤 佑美